

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集：ボランティア活動・弁論大会で学生が活躍！

11月5日、本学と足立区の連携協定事業の一環として本学の留学生5人が足立区立扇中学校の2年生70人、3年生57人と異文化交流学習会を行いました。今回は、コロナ禍のため初めてZoomを利用したのオンライン開催となりました。今回参加してくれた5人の留学生は、アメリカ、スリランカ、台湾、フィリピンの計4か国・地域出身でした。

留学生5人は、一人ずつPCを使い、中学生は4、5人のグループに1台のタブレットを活用してZoomのブレイクアウトルームを駆使してグループに分かれました。留学生は写真などを使って自分自身や自国の文化を紹介しました。中学生も自分たちで予め調べておいた都道府県や自分の興味のあるトピックについて英語で紹介し、その後留学生からの質問に頑張って答えました。中学生も留学生も英語を使っのコミュニケーションを楽しみました。

参加した留学生は「中学生と話ができて良い経験になった」などと感想を聞かせてくれました。一方、中学生は「留学生と話せるのは格別の経験でした」や「留学生が優しく、英語が通じてうれしかった」などと答えてくれました。



11月15日、本学の留学生7人が足立区立新田中学校の1年生約190人と2年生約170人との間で異文化交流学習会を行いました。この日もコロナ禍のためZoomを利用したのオンライン開催となりました。今回参加してくれた7人の留学生は、スリランカ、台湾、中国、フィリピン、ベトナムの計5か国・地域出身でした。

留学生7人は、写真などを使って自分自身や自国の文化を紹介しました。また、中学生も留学生に紹介したいトピック（例：好きな芸能人、食べ物、マンガなど）について英語で紹介し、英語でのコミュニケーションを楽しみました。

参加した中学生から「外国の方と交流するには英語がとても大切だと身をもって感じました」や「中国の名所、パンダ、ベトナムの観光名所、食などを学ぶことができ、とてもためになることが多く、地理や他の教科にも役立つと思う」「今回の活動で英語に対する苦手意識が少しなくなりました」「とてもいい経験になったので交流会を開いていただき感謝の気持ちでいっぱいです」と答えてくれました。来年2月にも足立区の中学校と異文化交流学習会を実施する予定です。

教員採用試験合格者体験発表会

11月11日、2022年度教員採用試験（千葉県、東京都）に現役合格した7人（江川有紗さん、奥野日菜さん、嶋田宗晋さん、奥山未彩さん、高橋勇氣さん、庭山航瑠さん、藤田祐也さん）が、教職課程履修の3年生に向けて合格するまでの具体的な勉強法やMETTSで実施している様々な対策講座への参加、学習ペースの維持の仕方などについて熱く語ってくれました。

先輩方の体験報告を聞いた学生は、「自分がどのような教師を目指すのかよく考える必要があると思った」「受験準備の話に加えて、その過程における先輩の気持ちの在り方などを聞くことができとても刺激になった」との感想を述べていました。



写真：(上段) 江川さん、奥野さん、嶋田さん
(下段) 奥山さん、高橋さん、庭山さん、藤田さん

全国青年弁論大会 尾高さん 3位、浦野さん 7位

11月14日、愛知県一宮市の修文大学において、「第66回文部科学大臣杯全国青年弁論大会」が開催されました。日本弁論連盟主催の本大会は、66年の歴史を誇る弁論界では最古の伝統ある大会です。全国津々浦々から、今年度は37人の弁士が集いました。

本大会に本学教職課程センター・地域学校教育センターの木内和夫教授の指導を受けた日本語学科3年の浦野遥風さん、同3年の尾高楓さんが予選を勝ち抜き本選に出場しました。浦野さんは「縄文の心、現代の心」の演題で、尾高さんは「ディズニー映画『ズートピア』から学んだこと」の演題で登壇しました。

本選の結果は以下のとおりです。

尾高 楓さん（日本語学科3年） 全国3位（愛知県教育委員会賞）受賞
浦野遥風さん（日本語学科3年） 全国7位（奨励賞） 受賞

参加した二人の弁士からは、「訴えたいことや経験などを7分間でまとめるなど内容の点では苦労しましたが、高校生の頃演劇部に所属していたり、地域のミュージカルや舞台等に出演した経験を活かして、当日は表現することができました」（尾高さん）、「弁論を通じ、他者の価値感や物事の見方、感じ方を知ることができました。『世代を超えた意見交流』ができる機会は、私にとって良い経験となりました」（浦野さん）のような感想が寄せられました。



写真：浦野さん（左）と尾高さん（右）

2023年度東京都教員採用試験説明会

11月18日、3学年の教職課程履修者対象の東京都教員採用試験説明会がZoomで開催されました。講師は、東京都教育庁人事部選考課の柳下俊介課長代理でした。東京都の求める教師像、研修制度、勤務条件、教員採用試験のあらましなどについて説明していただきました。参加した学生からは、「東京都の教育の仕組みや採用の方法などを学ぶことができただけでなく、生徒とのかかわり方を教えていただいて、教師になることの魅力を再確認した」「今回の話を聞いて東京都を受験しようと決めた」などの感想が寄せられました。



アゴラ活用状況（人）

11月	630
2018年からの延べ数	37,220